



# 本郷台小 7・8 月 休 だより

横浜市立本郷台小学校  
令和4年6月30日  
栄区本郷台一丁目6番1号  
Tel. 045-893-4010



学校ホームページ：<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongodai/>

## 一人ひとりの将来につながる学びを創る

副校長 鈴木 勝之

夏本番前ですが、30℃を上回る日々が続いております。感染拡大防止、熱中症防止に関しては日々の状況の変化に注視して取り組んでおりますが、保護者の皆様にも本校の取組と対応に対し、ご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。



さて、先日、地域や保護者の代表の方々を招いて、学校運営協議会を開催しました。今年度の第一回目だったので、本校の学校教育目標や中期学校経営方針とその具体について説明することを主な内容としました。学校たんけんの様子  
スライドに登場する子どもたちの姿からは、本校で大事にしている教育を改めて感じることができました。そのキーワードは「一人ひとりの将来につながる学びを創る」です。これは、生活科・総合的な学習の時間での育ちを核とし、思いや願いを大切にしたい学習活動を進めながら生活を豊かに創っていかうとする子どもを育てていかうという本校の学校経営ビジョンです。つまり、将来にわたって生き続ける力や学ぶ態度を身に付けられるようにするという「持続可能な」視点に立った考え方なのです。学習が終わったら、学年が変わったら、卒業したら終わりではなく、この先の一人ひとりの実生活に繋がっていくような教育を提供するともいえるでしょう。では、この考え方は学校現場のみに通用する特殊な考え方なのでしょうか。

実は、医療の世界にも同様の考え方があります。QOL（クオリティ・オブ・ライフ）という言葉を知ったことはありませんか。私は、あるテレビドラマでこの言葉を知りました。直訳すると生活の質、人生の質という意味になりますが、1948年の世界保健機構（WHO）憲章における「健康」の定義に端を発した言葉なのだそう。これも、治療をしたら、手術をしたら終わりではなく、治療後、手術後も「心身ともに健康で輝くような状態」を約束し、提供するという考え方です。

さらに、商品の製造・販売「ものづくり・もの売り」に関する業界にも同様の考え方があるそうです。それは「ものを売る」ではなく「ことを売る」というものです。売るのは商品そのものではなく顧客が欲する価値のことで、その価値とは、商品を手に入れたことによる課題の解決や充実した暮らしになります。ものは、それらの価値を実現するための手段という考え方なのです。ここにも、ものを売ったら終わりではなく、それを手にしたときの高揚感や期待感、その後の暮らしや人生の充実、つまり「こと」を約束し、提供するという考え方が存在しているのです。

このように、これらの事例はどれも、受け手に豊かな暮らしを約束するという点で共通しています。ここでいう豊かさとは、物質的な満足度のみならず、精神的な満足度をも保障するという意味の豊かさです。また、その豊かさは多様で、人によって感じ方や考え方は異なります。一人ひとりが望み、求める多様な豊かさに応えていくという点でも共通しているといえます。

今、世の中の多くは、多様性を認めていかうという方向に向かっています。どの教科等の学習も同じですが、本校の取組の柱であるスタートカリキュラムや生活科・総合的な学習の時間は特に、一人ひとりが将来にわたって生き続ける力や学ぶ態度を身に付けられる学習です。今年度もこれらの学習により一層の充実を図り、未来の社会の担い手である本郷台小学校の子どもたち一人ひとりの将来につながる学びを創っていかうと思います。